

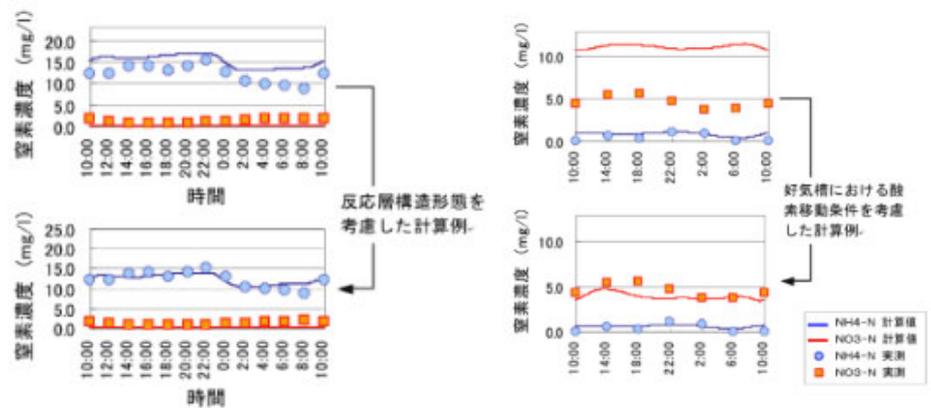
活性汚泥モデル（ASM）を利用した下水処理システム機能診断

「活性汚泥モデル（ASM）」は流入水質や運転条件が変化した場合の下水処理水質の変動を解析・予測できます。この「活性汚泥モデル（ASM）」を活用し、さまざまな下水処理システムの最適化を検討致します。

- ・ 下水処理機能の診断
- ・ 高度処理運転の非正常解析
- ・ 既存水処理システムの高度化
- ・ 水処理施設設計への運用
- ・ 適正な運転管理手法の提案

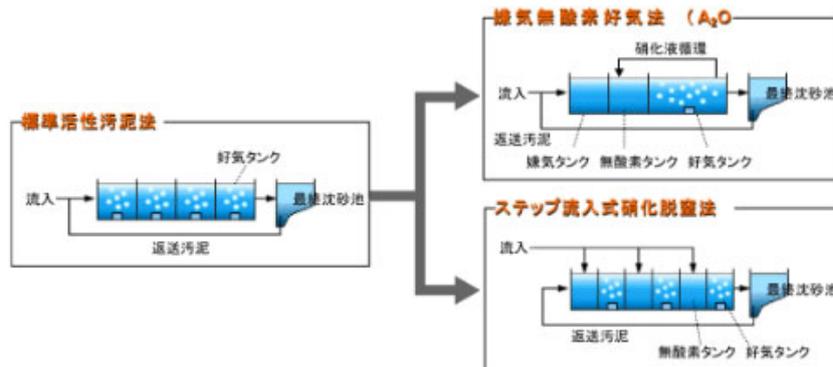
下水処理機能の判断

活性汚泥モデルでは、高度処理を含む様々な下水処理プロセスの処理水質の再現が可能です。このモデルを利用して下水の流入水質・水量変動に対する水質予測をもとに、最大処理可能水量の予測、水処理プロセスの機能評価・診断、省エネルギー化の検討などが可能です。



下水処理機能の判断

既存の施設を高度処理化した場合の処理水質を予測し、最適な処理プロセスの選定、効率的な槽配分比をご提案します。



活性汚泥モデルでは酸素消費を含めた生物反応プロセスを動力的に表現しているため、流入水量・水質、水温、運転条件などが変化した場合の、各反応槽の酸素消費量を予測できます。

目標水質に対する最適な曝気条件（曝気量、曝気パターンなど）の予測・制御手法をご提案します。